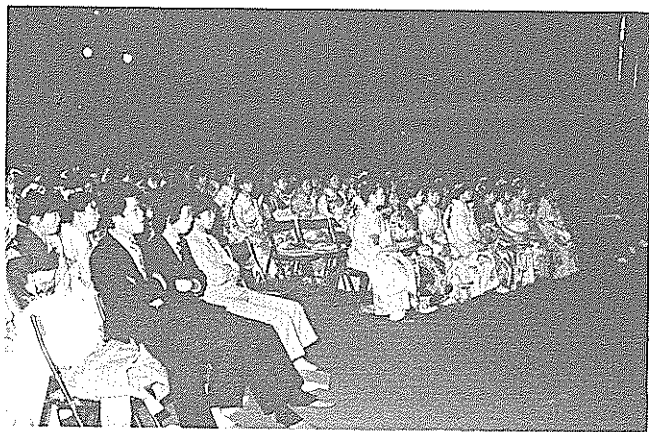


今年の新成人

男性295人、女性242人が大人の仲間入り



一月十五日、青年団が主体となった恒例の「二十歳を祝う成人式」が市民体育館で行われました。今年、大人の仲間入りをしたのは男女合わせて五百三十七人です。

式典前の体育館入口には、暗れ着姿の女性やスーツの男性が友達を見つけては話がはずんでいました。また、娘が来年成人式を迎えると言うことで、どんな着物が良いか見に来るお母さんもいました。

まず、青年団の創作劇「おながどり」に始まり、キャンドルセレモニー、来賓の方々の祝辞。それに答えて、野島利夫君（下末松）と山本美喜さん（大埴）が、「はたちの決意」を力強く述べ、最後は新成人の元気なもちつきで式を終わりました。

青年団の先輩たちの「ヨイショ、ヨイショ」の元気なかけ声に合わせて、力いっぱい杵を打ちおろす若者。新たな決意と闘志を胸に秘め、くじけることなく意志の強い若者として、大きな未来へ飛び立つてください。



「はたちになった記念にと、——暗れて大人の仲間入りをし、社会人として第一歩を踏み出した若者75人の方々が、「私の血液が役立てば…」と、積極的に「はたちの献血」をしていました。



毎年のことながら、出席者のほとんどの女性は、華やかな和服姿。大きな喜びの中で、ここまで大切に育ててくれた家族の方たちの苦勞も思い起こし、みなさんの愛への感謝の気持ちも忘れずに。